

令和7年度事業報告書

目 次

1	障害者スポーツ大会の開催	1
2	全国障害者スポーツ大会等への選手派遣	1
3	障害者スポーツ団体の育成・拠点整備	2
4	障害者スポーツ人材の育成	2
5	障害者スポーツの普及啓発	3
6	(公財)日本パラスポーツ協会受託事業	5
7	関係機関との連携	5
8	法人の運営体制の充実を図るための取組	7

公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

令和7年度事業の実施状況

1 障害者スポーツ大会の開催

(1) 第19回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

開催日	競技	対象	会場	参加選手
3月22日(土)	ソフトボール サッカー	知	県立三木総合防災公園	70 49
4月19日(土)	バスケットボール バレーボール	知	県立障害者スポーツ交流館	16 -
4月20日(日)	バレーボール	精	県立ふれあいスポーツ交流館	-
5月9日(金)	卓球	精	県立障害者スポーツ交流館	26
5月10日(土)	卓球	身・知	県立障害者スポーツ交流館	85
5月11日(日)	ボッチャ	身	県立障害者スポーツ交流館	31
5月17日(土)	フライングディスク	身・知・精	県立明石公園陸上競技場	130
5月17日(土)	ボウリング	知	神戸六甲ボウル	50
5月18日(日)	水泳	身・知	三木山総合公園屋内プール	85
5月24日(土)	陸上競技	身・知	加古川運動公園陸上競技場	219
5月25日(日)	サウンドテーブルテニス	視	県立障害者スポーツ交流館	37
計				798

身…身体障害者／知…知的障害者／精…精神障害者／視…視覚障害者

2 全国障害者スポーツ大会等への選手派遣

(1) 第24回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

全国障害者スポーツ大会に派遣する近畿ブロック代表チーム(団体競技)を決定する近畿地区予選会に兵庫県チームを派遣した。

※令和7年度は、滋賀県で全国大会が開催されるため、予選会は全て滋賀県が開催

(2) 全国障害者スポーツ大会への選手派遣・育成

滋賀県で開催される第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」に兵庫県選手団を派遣するとともに、派遣選手の競技力向上のため合同練習会を開催した。

大会期間 令和7年10月25日(土)～10月27日(月) 3日間

開催場所 彦根市 ほか

派遣人数 176人 選手 112人、コーチ・役員等 64人

成績 メダル 59個(都道府県・政令市 67選手団中 10位)

(大会新記録) 水泳：男子壮年 25m バタフライ

(3) 全国車いす駅伝競走大会への選手派遣

京都市で開催される全国車いす駅伝競走大会に兵庫県チームを派遣した。

開催日 令和8年3月8日(日)

会場 国立京都国際会館前～たけびしスタジアム京都

成 績 7 位 (全 19 チーム)

3 障害者スポーツ団体の育成・拠点整備

(1) 競技別県大会開催支援

競技団体の競技力向上や競技人口の拡大のため、団体が主催する競技大会等の開催に要する費用を助成した。

助成実績 24 団体 (1 団体あたり上限 8 万円) (R6 年度実績 : 24 団体)

対象団体 36 団体 (令和 8 年 3 月現在)

(2) 競技別全国大会等派遣支援

競技団体の競技力向上を図るため、団体が行う全国大会等(国際大会含む)への選手派遣に要する費用を助成した。

助成実績 15 団体 (1 団体あたり上限 6 万円) (R6 年度実績 : 16 団体)

対象団体 36 団体 (令和 8 年 3 月現在)

(3) 競技別団体設立支援

全県的な競技人口の拡大を図るため、その競技において県を代表する連盟・協会等の新たな設立に要する費用を助成した。

助成実績 なし (1 団体あたり上限 5 万円) (R6 年度実績 : 1 団体)

(4) 兵庫県障害者スポーツフェスティバル開催支援

障害者スポーツのすそ野の拡大を図り、障害の有無に関係なく、誰もが障害者スポーツを楽しむことができる大会やイベント等の開催に要する費用を助成した。

助成実績 10 団体 (1 団体あたり上限 3 万円) (R6 年度実績 : 10 団体)

助成対象 10 大会 (ひょうご障害者スポーツ指導者協議会各支部主催)

(5) 地域における障害者スポーツ推進拠点の整備

県立特別支援学校、企業、大学、団体等の体育施設を地域における障害者スポーツの拠点として活用するため、支援員(近隣の障害者スポーツ指導員等)による管理運営、活動指導等の支援を実施した。

回数 92 回 (令和 6 年度実績 100 回)

4 障害者スポーツ人材の育成

(1) 障害者アスリートマルチサポート事業の実施

応援協定締結団体等と連携した専門的な技術指導(栄養学講座、用具メンテナンス、リハビリの指導等)、記録会、一般スポーツ団体との交流等の多面的な支援を行うことにより、障害者アスリートの総合的な競技力向上を図るとともに、一般競技者と双方向の交流によるパラスポーツへの参画者の増大を目指す。

また、次代を担うパラアスリートの発掘育成を目的に、全国大会等をめざす意欲あるジュニア(小中学生等)を対象として、ジュニア指導に精通した指導者による技術

指導など、ジュニアに特化した多面的な支援を実施した。

- ・競技指導者による専門的技術指導を実施 8回（令和6年度実績 30回）
実施競技 陸上競技/卓球/水泳/
- ・一般スポーツ団体との交流、記録会、競技会 2回（令和6年度実績 25回）

（2）兵庫県障害者スポーツ指導者養成講習会の開催

地域における障害者スポーツ指導者養成のため、公益財団法人 日本パラスポーツ協会公認「初級パラスポーツ指導員」の養成講習会を開催した。

日程： 座学：令和8年1月10日（土）、17日（土）、18日（日）
実技：令和8年25日（日）

会場： 県立総合リハビリテーションセンター（神戸市西区）等
修了者数 27人（令和6年度実績 25人）

（3）施設職員向け障害者対応研修の開催【新規】

さらなる障害者スポーツの振興につなげるため、県内スポーツ施設の運営に携わる職員等を対象に、障害特性に応じた対応等を内容とした研修会を開催した。

日程： 座学：令和8年1月10日（土）、17日（土）
実技：令和8年1月25日（日）

会場： 県立総合リハビリテーションセンター、神戸常盤アリーナ等
（研修内容）

座学：障害の理解と障害特性を踏まえたコミュニケーション方法等
実技：プール施設を中心に介助、誘導、安全確保等の実習

修了者数 11人

5 障害者スポーツの普及啓発

（1）パラスポーツ王国 2025 の開催

障害のある人となない人がスポーツを通じて相互理解の促進を図るとともに、神戸2024 世界パラ陸上のレガシー等を継承するため、神戸市と共同で開催した。

開催日 11月9日（日）

場 所 しあわせの村（神戸市北区）

内 容 パラスポーツ体験会（屋内競技のみ）

※荒天のため、以下のイベントは実施せず

- ・FUN ラン&ウォーク（車いすマラソン、ユニバーサルリレー等）
- ・青空市場（県立特別支援学校高等部による作品展示販売会）

来場者数 1,340人 ※雨天のため（令和6年度実績 3,941人）

（2）障害者スポーツ出前講座の実施

小中学校、企業、福祉団体等において、障害者スポーツの出前講座を実施し、障害者スポーツへの理解・参画を促す。

実施回数 40回 参加人数 3,227人（令和6年度実績 37回 3,800人）

(3) パラアスリートとの交流、パラスポーツ体験事業の実施

神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーを継承しつつ、障害者スポーツの更なる機運醸成を目的に、小中学生等（健常者と障害者との交流を想定）を対象とした、本県ゆかりのパラアスリートとの交流やパラスポーツ体験事業を実施した。

・ UNIVERSAL DANCE FESTIVAL 2025

開催日 令和 7 年 9 月 23 日（火・祝）

場 所 神戸メリケンパーク

参加アスリート 森井 涼太（デフバスケット）、刈 暢之（デフゴルフ）等 4 名

(4) パラ e スポーツ体験会の開催【新規】

障害のある人がパラ e スポーツ体験を通じて、「体を動かすこと」やパラスポーツへの興味・理解を深めることや、健常者との交流を目的に開催した。

開催日 令和 7 年 10 月 13 日（月・祝）

場 所 イーグレひめじ（姫路市）

(5) スポーツ協会広報誌の発行

当協会が実施する大会等の情報を中心に障害者スポーツ関連の話題を掲載した広報誌を発行し、各都道府県・県内各市町・関係団体・障害者スポーツ指導員等に配布。

1 回発行 1,500 部

(6) パラリンピック写真展・障害者スポーツ絵画展の開催

パラスポーツイベントに合わせ、施設等において写真展・絵画展を実施することにより、障害者スポーツへの理解を促す。

写真展・絵画展 実施回数 15 回（令和 6 年度実績 6 回）

(7) 兵庫県障害者スポーツ功労賞、特別優秀選手賞、優秀選手賞の贈呈

障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰した。

受賞者 兵庫県障害者スポーツ功労賞 3 人 [令和 6 年度 5 人]

兵庫県障害者スポーツ特別優秀選手賞 1 人 [令和 6 年度 2 人]

兵庫県障害者スポーツ優秀選手賞 78 人 [令和 6 年度 79 人]

兵庫県スポーツ賞特別賞 1 人 [令和 6 年度 2 人]

兵庫県スポーツ賞優秀賞 53 人 [令和 6 年度 67 人]

表彰式 令和 8 年 2 月 13 日（金） 神戸常盤アリーナ（神戸市長田区）

(8) 国際大会出場選手への激励金の贈呈

障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手の表敬訪問及び激励金を贈呈した。

対象大会 パラリンピック（5 万円）、

デフリンピック、スペシャルオリンピックス世界大会、アジアパラ競技大会（3 万円）

その他 理事長が認める大会

実績 東京 2025 デフリンピック出場選手 11 名
ミラノ・コルティナ 2026 冬季パラ出場選手 3 名
(令和 6 年度 第 20 回冬季デフリンピック 2 名
パリパラリンピック 10 名)

6 (公財)日本パラスポーツ協会受託事業

「初級パラスポーツ指導員養成講習会」「地域における障がい者スポーツの振興事業」など、当協会の目的と合致する事業を受託、実施した。

- ・「初級パラスポーツ指導員養成講習会」(再掲)
- ・「地域におけるパラスポーツ振興事業」
 - ・サウンドテーブルテニスの周知と新展開
 - ・精神障害のある方のスポーツ環境づくり
 - ・パラクライミング教室

7 関係機関との連携

(1) 障害者スポーツ応援協定による取組【拡充】

大学や企業、団体等との間で「障害者スポーツ応援協定」を締結し、練習場所の提供やボランティア派遣等、様々な形での障害者スポーツへの参画・支援を推進する。

協定締結団体 90 団体 (大学等 20、企業 59、団体 11)

(2) 障害者スポーツネットひょうごとの連携

県内の障害者スポーツ関係団体・施設等を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に参画し、協働事業の展開や情報共有を行った。

(3) ひょうごパラスポーツ指導者協議会との連携

地域で活動する指導者で構成する「ひょうご障害者スポーツ指導者協議会」の一層の活性化を図り、県内障害者スポーツの振興に資するため、指導者協議会との密接な連携協力のもと各種大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手派遣等を行った。

(4) 東京 2025 デフリンピック、愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会、ワールドマスタースゲームズ 2027 関西 主催団体との連携【拡充】

デフリンピックの開催に向け、協会主催・参加イベント等でデフリンピックに係る PR ブースを設置する等により機運醸成を図った。

- ・ひょうごユニバーサルデイ (ベイコム総合体育館 尼崎市)
- ・UNIVERSAL DANCE FESTIVAL 2025 (再掲) 等

(参考) 財政基盤の強化

(1) 賛助会員の募集

関係団体、協賛実績のある法人、企業、社会奉仕団体等に兵庫県障害者スポーツ協会だより送付の機会等を活用し、広く加入を呼びかける。

賛 助 会 費 173,000 円 (令和 6 年度実績 158,000 円)

(2) 協賛企業の開拓

兵庫県のじぎくスポーツ大会等の協賛企業の新規開拓を進めるとともに、大会プログラムへの広告掲載を積極的に行い、広告収入の拡大を目指す。

のじぎく大会協賛金	440,000 円	(令和 6 年度実績	467,040 円)
一般寄付	250,000 円	(令和 6 年度実績	2,950,000 円)

(3) 障害者スポーツ支援自動販売機の設置

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機設置台数の増加を推進するため、学校・企業等に対して設置協力を依頼する。

設置台数 60 台 (令和 6 年度実績 60 台)

法人の運営体制の充実を図るための取組

1 公益法人内部における規範の整備

①諸規程の整備

実施体制：適正な協会事務の運営のため、組織規程や決裁規程、会計処理規程等を整備している

※整備済みの規程

組織規程、決裁規程、公印規程、文書取扱規程、会計処理規程、理事会運営規程、評議員会運営規程、評議員選定委員会運営細則、基本財産管理規程

【今後整備予定】

①個人情報管理規程等、重要な規程の整備

実施体制：個人情報保護法（令和3年改正）に基づいた規程の制定

協会職員に対する研修等による個人情報の適正な取り扱いの徹底

実施時期：令和8年度～

2 公益法人の機関別（理事会・評議員会、監事）における具体的取組

①理事・評議員・監事（以下、「役員」という。）の選任

役員の選任にあたっては、外部人材を登用し、事業実施や決算、監査について適正な意見をいただいている。

また、事業内容に鑑み、障害の種別ごとに適切な意見をいただけるよう、専門的な知識や経験を持つ団体から就任していただいている。

②評議員選定委員会の設置

理事等の実質的な影響力行使を排除するため、評議員選定委員会を設置している。

3 不祥事の予防・発見・事後対応の仕組み

①契約、決済時のチェック体制の構築

物品の購入や補助金の決定等の契約、決済時には経理担当者、班長、次長（必要に応じて事務局長）によるチェックを行い、適正な契約の締結、支払いを行っている。

②監事監査の受検

決算にあたっては、監事監査を受検し、適正な支出管理に努めている。

令和7年度各種助成金支出団体一覧

<別表>

注) 令和7年度事業報告書 3 障害者スポーツ団体の育成・拠点整備 (1) (2) (4)の助成実績内訳等

(1)	(2)	(4)
名称 兵庫県障害者スポーツ競技種目別県大会等開催支援事業助成金	兵庫県障害者スポーツ競技種目別全国大会等派遣支援事業助成金	兵庫県障害者スポーツフェスティバル開催支援事業助成金
要件 団体が主催する競技大会若しくは練習会開催に要する経費を助成する	団体が国際大会若しくは全国大会等に出場するに要する経費を助成する	障害者スポーツのすそ野の拡大を図り、障害の有無に関係なく、誰もが障害者スポーツを楽しむことができる大会やイベント等の開催に要する経費を助成する

No	団体名	競技名
1	兵庫県車いすバスケットボール連盟	バスケットボール
2	兵庫県身体障害者アーチェリー連盟	アーチェリー
3	兵庫県障害者卓球連盟	卓球
4	兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ協会	グラウンドゴルフ
5	兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会	自転車
6	兵庫県ボッチャ協会	ボッチャ
7	兵庫県障害者フライングディスク協会	フライングディスク
8	兵庫県ゴールボール協会	ゴールボール
9	兵庫県チェアスキー協会	スキー
10	兵庫県特別支援学校(知的)サッカー連盟	サッカー
11	近畿ブライントニス協会	テニス
12	兵庫県障害者ローンホウルズ連盟	ローンホウルズ
13	兵庫県障害者空手道部会	空手
14	兵庫県身体障害者吹矢協会	吹矢
15	兵庫県障害者ふうせんバレーボール連盟	ふうせんバレー
16	兵庫県卓球ハレー協会	卓球ハレー
17	兵庫県障がい者バドミントン協会	バドミントン
18	兵庫県脳性麻痺7人制サッカー協会	サッカー
19	兵庫県電動車椅子サッカー協会	サッカー
20	ひょうごID陸上競技協会	陸上
21	ひょうごシッティングバレーボール連盟	バレーボール
22	兵庫県知的障害者水泳連盟	水泳
23	兵庫県パラアスリートダンス連盟	ダンス
24	兵庫県知的障害者バレーボール連盟	バレーボール

24団体

団体名	競技名
兵庫ハラ陸上競技協会	陸上
兵庫県車いすバスケットボール連盟	バスケットボール
兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ協会	グラウンドゴルフ
兵庫県ブライントマラソン協会	マラソン
兵庫県ボッチャ協会	ボッチャ
兵庫県チェアスキー協会	スキー
兵庫県特別支援学校(知的)サッカー連盟	サッカー
兵庫県障害者空手道部会	空手
兵庫県卓球ハレー協会	卓球ハレー
兵庫県障がい者バドミントン協会	バドミントン
兵庫県脳性麻痺7人制サッカー協会	サッカー
兵庫県電動車椅子サッカー協会	サッカー
ひょうごシッティングバレーボール連盟	バレーボール
兵庫県知的障害者水泳連盟	水泳
兵庫県知的障害者バレーボール連盟	バレーボール

15団体

団体名	競技名
宝塚市障害者スポーツ協会	車いすバスケット、ボッチャ、卓球ハレー、フライングディスク、ふうせんバレー等
さんだパラスポーツの会(三田地域)	ボッチャ、フライングディスク
ひょうごパラスポーツ指導者協議会東播磨地域委員会	スクエアボッチャ
つなぐGGプロジェクト(淡路GGプロジェクト)	グラウンドゴルフ
ひょうごパラスポーツ指導者協議会神戸地域委員会	ボッチャ、卓球ハレー、モルック
ひょうごパラスポーツ指導者協議会但馬地域委員会	ボッチャ
ボランティアサークルサラダドレッシングパララヘン実行委員会	Which(ウィッチ)ボール
さんだパラスポーツの会(北神地域)	ボッチャ
兵知BB連合	バスケットボール
たまつボッチャ祭実行委員会	ボッチャ

10団体